



マラリアについて

マラリア原虫をもった蚊（ハマダラカ属）に刺されることで感染する病気です。アジア、アフリカ、オセアニアおよび中南米の熱帯・亜熱帯地域で流行しています。

日本においても海外渡航者が増え、世界におけるマラリアも増加していることから、渡航時はマラリアに感染しないように注意が必要です。

◆**主な症状**◆ 1週間から4週間ほどの潜伏期間において、発熱、寒気、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などの症状が出ます。ヒトのマラリアには5種類「熱帯熱マラリア、三日熱マラリア、四日熱マラリア、卵形マラリア、二日熱マラリア（サルマラリア）」があります。中でも、熱帯熱マラリアは発症から24時間以内に治療しないと重症化し、しばしば死に至ります。脳症、腎症、肺水腫、出血傾向、重症貧血など、さまざまな合併症がみられます。

こちらでもCHECK!
厚生労働省検疫所HP-FORTH-
「マラリアに注意しましょう!」



渡航の際は特に注意し、速やかに治療することが大切です

マラリア流行地に入ってから7日目以降にマラリアを疑う症状が出た場合、速やかに医療機関を受診してください。予防薬を内服していても感染することがあるため注意が必要です。また、海外で症状が出たときのために、渡航先の医療事情を確認しておきましょう。

- ・ハマダラカは主に夕暮れから明け方にかけて活動します。長袖・長ズボンを着用し、できる限り肌の露出を少なくし、虫よけ剤も活用しましょう。
- ・マラリアには予防薬があります。マラリア流行地へ渡航する際は、抗マラリア薬の予防内服を行うことが望ましいとされています。



| 定点種別 | 疾患名 | 状況 | 22週(5/25~5/31) | | 23週(6/1~6/7) | |
|----------------|------------------------|----|----------------|-------|--------------|-------|
| | | | 報告数 | 定点当り | 報告数 | 定点当り |
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | インフルエンザ | - | 1 | 0.04 | 1 | 0.04 |
| | 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) | / | 27 | 1.17 | 36 | 1.57 |
| | 急性呼吸器感染症(ARI) | / | 1022 | 44.43 | 1092 | 47.48 |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | / | 1 | 0.07 | 8 | 0.57 |
| | 咽頭結膜熱(プール熱) | - | 3 | 0.21 | 8 | 0.57 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | - | 49 | 3.50 | 43 | 3.07 |
| | 感染性胃腸炎 | - | 46 | 3.29 | 41 | 2.93 |
| | 水痘(みずぼうそう) | - | 1 | 0.07 | 3 | 0.21 |
| | 手足口病 | ○ | 95 | 6.79 | 179 | 12.79 |
| | 伝染性紅斑(りんご病) | - | 9 | 0.64 | 4 | 0.29 |
| | 突発性発しん | / | 16 | 1.14 | 13 | 0.93 |
| | ヘルパンギーナ | - | 25 | 1.79 | 32 | 2.29 |
| | 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | - | 2 | 0.14 | 0 | 0.00 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | - | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | 流行性角結膜炎(はやり目) | - | 1 | 0.20 | 3 | 0.60 |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | / | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | 無菌性髄膜炎 | / | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | マイコプラズマ肺炎 | / | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | クラミジア肺炎(オウム病を除く) | / | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | / | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし